

水産技術研究所五島庁舎のブリ親魚養成経費



水産研究・教育機構 水産技術研究所五島庁舎
藤浪祐一郎
山崎英樹・堀田卓朗・野田勉・中条太郎・秋田一樹

水産技術研究所五島庁舎のブリ親魚養成経費

1) 五島庁舎の親魚養成と成熟制御

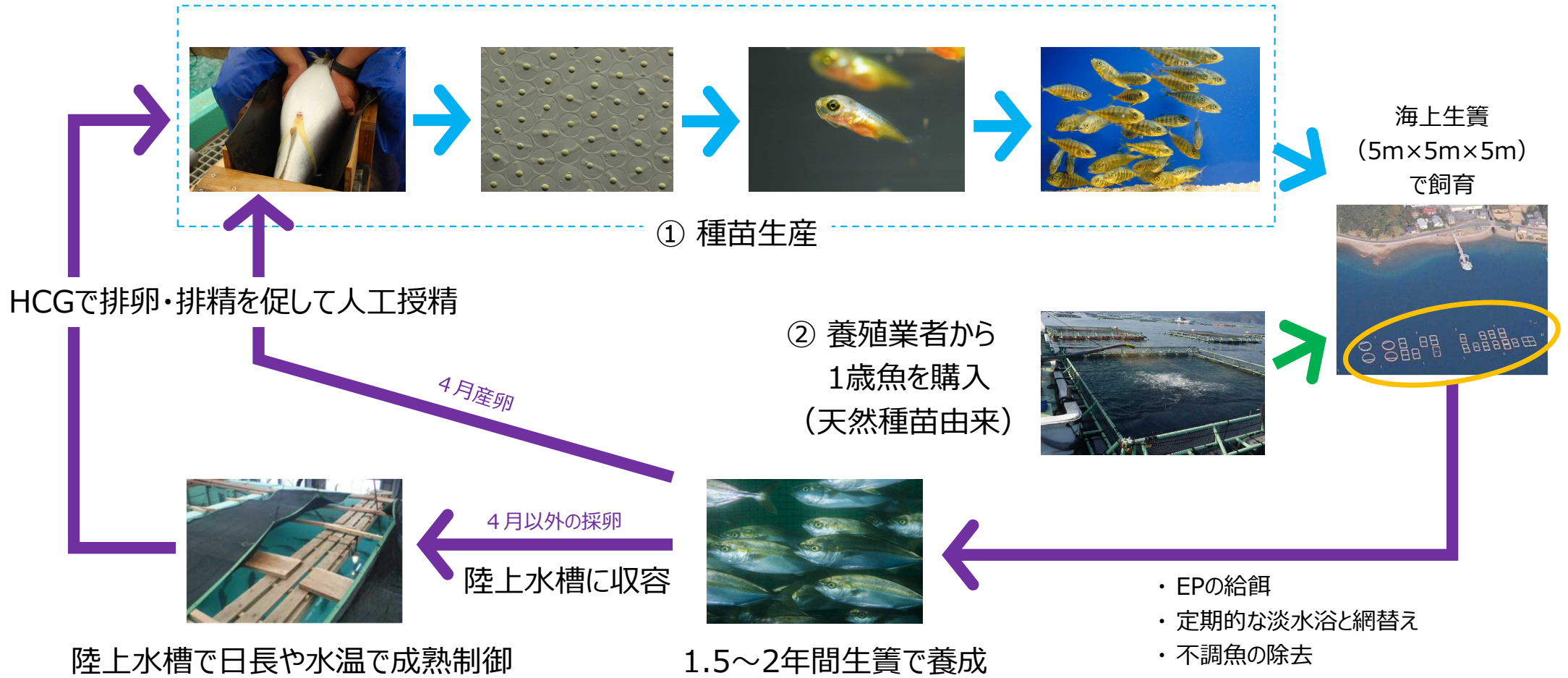
①4月、②1月、③8月、④10月

2) 採卵時期別の親魚養成経費

3) 受精卵1粒あたりの経費



1) 五島庁舎の親魚養成と成熟制御



2) 採卵時期別の親魚養成経費

経費の内訳-1

費目	計算根拠
親魚購入費	11月に1歳魚（3.5kgサイズ）100尾を購入した際の購入価格 1尾あたりの価格は税込み4,455円（H30～R1年の購入実績） 購入した100尾は翌年4月まで全数飼育→4月に選別して35尾を継続飼育して採卵に使用
飼料費	採卵までに給餌したEPの金額 飼料価格は税込み4,015円/20kg（H30とR1年の購入実績）
賃金	海上生簀、陸上施設での作業員の賃金。海上は46生簀を5名で管理（使用生簀面数で案分）、陸上施設は年間1～2名で管理（使用水槽数で案分）。
電気料金	陸上水槽の冷却に要した電気料金（R3年度実績）
重油代	陸上水槽の加温に要した重油代（R2年度実績） 重油単価は税込み8.03万円/kL
水道料金	海上生簀での淡水浴に要した水道料金。海上飼育中は1回/月で5kLを使用。 水道料金は税込み231円/kL。

2) 採卵時期別の親魚養成経費

経費の内訳-2

費目	計算根拠
備品費	Pit-TAGリーダー、陸上水槽で使用する銅イオン発生装置、海上の筏、小割網の購入金額を耐用年数と使用頻度に応じて案分
消耗品費	Pit-TAG（税込み924円を3回再利用）、hCG（採卵時1個体あたり3,000IU）、海上施設のフロート・ロープ・筏の足場板（5年間の購入実績を使用施設数で案分）
保守費用	筏、小割網、親魚水槽濾過槽の保守経費（5年間の支出実績を使用施設数で案分）

注意！！

職員の人件費、施設整備のインシャルコスト、船舶関連費用は経費に含めていません

2) 採卵時期別の養成経費

(万円)

	4月採卵	1月採卵	8月採卵	10月採卵
親魚購入費	44.6	44.6	44.6	44.6
飼料費	45.1	67.8	71.1	73.1
賃金	34.6	99.2	105.1	116.9
電気料金	0	0	31.5	50.0
重油代	0	94.4	94.4	94.4
水道料金	2.1	2.8	2.8	2.8
備品費	22.0	31.6	31.6	31.6
消耗品費	7.8	11.6	13.2	13.2
保守費用	12.4	16.4	32.9	32.9
合計	168.6	368.4	427.2	459.5

3) 受精卵1粒*1あたりの経費

*1：成熟調査用のサンプリング個体等を除いた尾数
 *2：10万粒以上採卵できた個体の割合と浮上卵量

	4月採卵	1月採卵	8月採卵	10月採卵
雌親魚数	25尾	25尾	25尾	25尾
使用可能数*1	20尾	20尾	20尾	20尾
体重	6.5kg	7.5kg	8kg	8kg
採卵成功率*2	50.6%	60.3%	39.5%	56.4%
1尾あたり平均採卵量*2	32.6万粒	24.0万粒	28.7万粒	27.5万粒
合計採卵量	329.4万粒	289.4万粒	226.2万粒	310.6万粒
受精率	80%			
受精卵量	263.5万粒	231.6万粒	180.9万粒	248.4万粒
受精卵1粒の経費	0.64円	1.59円	2.36円	1.85円

最後に・・・

- 親魚と施設があれば希望する時期に受精卵を得ることは可能
 - ご希望があれば機構が技術面のサポートをします
- 親魚養成にはそれなりの手間、時間、経費がかかる
 - その後の種苗生産、養殖サイクル、販売戦略に応じて採卵時期を決めるべき

ご清聴、ありがとうございました